口頭発表

A会場（H301）

9:00	A1	日本と中国における世界自然遺産保全管理の比較分析：生物多様性に基づいて登録された遺産地域を対象として ○王氷1 1 九州大学 地球社会統合科学府	座長：芳賀	ガバナンス
9:15	A2	ノルウェーにおける自然資源利用と万人権、ランドスケープ設計における課題 ○伊東啓太郎1，須藤朋美1，長谷川逸人2 1国立大学法人九州工業大学大学院建設社会工学専攻環境デザイン研究室，2中央大学理工学部 人間総合理工学科		
9:30	A3	世界遺産条約における文化的景観をめぐる認識の発展 ○小張 真理子1 1なし		
9:45	A4	気候変動による災害リスク対応とネイチャーポジティブを両立させる計画手法 ○一ノ瀬友博1，山田由美2 1慶應義塾大学環境情報学部，2兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科		グリーンインフラ
10:10	A5	雨水流出環境特性に応じた流域住民の庭に対するグリーンインフラ活用意識 ○横田樹広1 1東京都市大学	座長：一ノ瀬	
10:25	A6	第11回国際景観生態学会世界大会参加報告：JALE若手の目線から ○芳賀智宏1，堀田亘2，長谷川逸人3，大越陽2 1大阪大学大学院工学研究科，2北海道大学大学院農学院，3九州工業大学大学院工学府		大会報告
10:40	A7	里地・里山・里海環境から生まれた日本の伝統行事（しつらいもの）・文化・社会 ○金子是久1 1北総生き物研究会		文化的サービス・関係価値
10:55	A8	価値づけられた景観がもつ自然災害に対するレジリエンス ―「能登の里山里海」と令和6年能登半島地震― ○河本大地1 1奈良教育大学		

B会場（H302）

9:00	B1	UAV-SfMとALSを用いた砂浜海岸の地形変化と流域特性の関係把握 ○中田康隆1 1京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	座長：丹羽	景観・植生モニタリング
9:15	B2	令和6年能登半島地震による里山里海の景観変化 ○柳井清治1，荒川裕亮2 1石川県立大学，2のと海洋ふれあいセンター		
9:30	B3	GISを用いた漁場の見える化：伊勢湾における小型底びき網漁業の事例から ○竹村紫苑1，神山龍太郎1，澤山周平1，横内一樹1，中野哲規2，加藤毅士2，今泉哲2，植村宗彦2 1水産研究・教育機構 水産資源研究所，2愛知県水産試験場 漁業生産研究所		
9:45	B4	乗鞍高原の植生景観に残る地域の履歴 ○鈴木重雄1 1駒澤大		
10:10	B5	市町村域スケールにおけるメッシュ法による植物相調査法 ○松田義徳1，板橋朋洋1，時田明史1 1秋田県立大学生物資源科学研究科	座長：竹村	
10:25	B6	山村集落のレジリエンスを支える条件の考察―岐阜県揖斐川町の薬草栽培地の雪崩被害とその復興過程を事例に ○嵯峨創平1 1京都大学大学院 地球環境学舎 博士後期課程		里山
10:40	B7	荷路夫エコロードにおける動物のアーチパス利用状況の調査 石井悠斗1，○後藤忍2 1東北大学大学院環境科学研究科，2福島大学大学院共生システム理工学研究科		野生生物
10:55	B8	鳥取県中西部におけるロードキル発生要因の一考察 ○末次優花1 1日本大学理工学部交通システム工学科		

ポスター発表（ホーイ記念館3階東側教室間スペース）（*はポスター賞審査対象）

P01 *	地域の環境政策と連動した多主体協働による里山再生-福岡県福津市におけるガバナンス創発プロセス- 〇長谷川逸人1，須藤朋美2,伊東啓太郎2 1中央大学理工学部人間総合理工学科，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院	ガバナンス
P02	地域に根ざした自然資源の共同管理手法および持続要因に関する考察-福岡市早良区脇山を対象として- 〇上田悦史1，須藤朋美2，伊東啓太郎2，長谷川逸人3，松村竜也4，沖宗怜治1 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院，3中央大学理工学部人間総合理工学科助教，4ショーボンド建設株式会社西日本支社	
P03	淡路島における絶滅危惧種シロチドリの保全ーイラストを用いた看板の可能性 〇新見紗矢1，原彩菜2，藤原道郎1 1 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科／淡路景観園芸学校，2 淡路島ちどり隊	
P04	都市、地域における庭園の設計・施工の実践ならびにプロセス研究 〇浦田知裕1，伊東啓太郎1，須藤朋美1 1国立大学法人九州工業大学大学院建設社会工学専攻環境デザイン研究室	
P05 *	能登半島地震後の断水時における井戸水の利用ー七尾市能登島を対象にー 〇小山明子1，柳井清治2 1 国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット，2石川県立大学	グリーンインフラ
P06 *	都市部における社叢の現況-植生被覆率変化の実態と今後の展望- 〇小山栞奈1 1なし(一橋大学社会学部 人文地理学ゼミ卒)	
P07	小流域の特性に応じた治水対策と行政計画との関係性に関する考察―福岡県遠賀川流域を対象地として― 〇別府大地1，伊東啓太郎2，須藤朋美2，ニ木陸3 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2 国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院， 3福岡県那珂県土整備事務所道路課維持係	
P08	木炭・竹炭を用いた植栽桝における雨水の活用と浄化機能の評価 〇真鍋海里1，伊東啓太郎2，須藤朋美2 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院	
P09 *	特用林産物の保全に着目した自然環境と人間社会の相互関係に関する考察―福岡市早良区脇山を対象として― 〇沖宗怜治1，伊東啓太郎2，須藤朋美2，長谷川逸人3 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院，3中央大学理工学部人間総合理工学科	保全
P10	宮城県レッドリスト「植物群落」の実効性向上をめざした景観生態学的な取り組み 〇菅野洋1，沖田菫2，齋藤賢治3，平吹喜彦4 1水と空，2東京環境工科専門学校，3宮城植物の会，4東北学院大学	
P11	森林や里山を利用した樹木葬による里山保全の可能性ー兵庫・大阪近郊の樹木葬の予備的調査ー 〇髙橋 慧1，藤原 道郎1 1兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/兵庫県立淡路景観園芸学校	
P12	北海道における草原景観の保全状況について 〇松島肇1，徐梦林1，吉野航大2，佐藤舜紀2，愛甲哲也1，中山隆治3，井上貴央1 1北海道大学大学院農学研究院，2北海道大学大学院農学院，3北海道大学公共政策大学院	
P13 *	3つの社叢に見る空間構成と文化的意義 〇劉 大可1，王 聞2，中井 美波2，深町 加津枝2 1京都大学農学研究科森林科学専攻環境デザイン学分野，2京都大学大学院地球環境学堂	文化的サービス・関係価値
P14	使用樹種からみた移築合掌造り家屋の生態学的・文化的価値の再評価：五箇山漆谷にたつ旧宿泊施設離れの事例 猪股夏月，土本俊和，〇井田秀行 信州大学大学院総合理工学研究科	景観モニタリング
P15 *	徳島市内におけるカエル類5種の繁殖地分布を決定づける地形・土地利用要因 〇上原 健1，鎌田 磨人2 1徳島大学大学院創成科学研究科，2徳島大学大学院社会産業理工学研究部	
P16 *	絶滅の危機に瀕する四国のツキノワグマ生息域における植生変化 〇冨田聖夢1，戴帰航1，鎌田磨人2 1徳島大学大学院創成科学研究科，2徳島大学大学院社会産業理工学研究部	
P17	奄美群島国立公園自然環境アトラスの作成 〇増澤直1，今野 尚美1，五反田千晶1，荒尾 章子1 1株式会社地域環境計画	

P18 *	海水浴場における草方格と堆砂垣設置後の地表面変化 〇植野 晴子1，松島 肇2，大越 陽1，中田 康隆3，有働 恵子4，萩野 裕章5，佐藤 慎也6，佐藤 優吾6，若松 栞6， 小貫 陽子6，中村 洸太6，佐々木 大樹6 1北海道大学大学院 農学院，2北海道大学大学院 農学研究院，3京都府立大学大学院 生命環境科学研究科，4東北大学大学院 工学研究科，5森林総合研究所 東北支所，6石狩市	景観モニタリング
P19	湿地性植物クロミノニシゴリの名古屋市内における分布要因 〇橋本啓史1，篠原敏樹2，長谷川泰洋3 1名城大学，2元・名城大学，3名古屋産業大学	
P20 *	航空レーザ測量データによる森林構造指標を考慮した森林植生分類手法の検討 〇北野陽大1，中田康隆1，長島啓子1 1京都府立大学大学院生命環境科学研究科	植生モニタリング
P21 *	造成地で自生するキンラン属4種の生育環境の評価 〇鈴木勇登1，湯浅拓輝2，一ノ瀬友博3 1慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修士課程，2慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科後期博士課程，3慶應義塾大学 環境情報学部	
P22	生育基盤保全区と盛土区におけるクロマツの樹高成長 大垣岳斗1，〇富田瑞樹2，菅野洋3，平吹喜彦4 1東京情報大院，2東京情報大，3水と空，4東北学院大	
P23	京都府久美浜砂丘におけるハイネズ群落の立地条件の解明ー海岸砂丘植生の保全・再生に向けてー 〇山中柚季1，中田康隆2，長島啓子3 1京都府立大学，2京都府立大学院，3京都府立大学院	
P24	岩手県天然記念物「山岸のカキツバタ群落」の植生 〇島田直明1，山根穂香1 1岩手県立大学総合政策学部	
P25	放置竹林における竹稈の成長段階およびイノシシの影響 〇藤原道郎1 1兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科／淡路景観園芸学校	
P26 *	子どもの直接的自然体験を目的とした遊び空間の設計指針の提案ー壱岐南小学校を対象としてー 〇宮園遼1，伊東啓太郎2，須藤朋美2 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院	環境教育
P27 *	環境教育資源としての小学校ビオトープの評価と活用手法の提案―壱岐南小学校を対象として― 〇橋場友拓1， 星野愛結2，伊東啓太郎3，須藤朋美3 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2株式会社五省コンサルタント， 3国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院	
P28 *	子どものアクティビティと植生の相互作用の評価-福岡市壱岐南小学校ビオトープを対象として- 〇緒方友希1，伊東啓太郎2，須藤朋美2，古閑丈瑛3 1九州工業大学大学院工学府，2九州工業大学大学院工学研究院，3株式会社緑演舎	
P29 *	遊び行動から見る壱岐南小学校ビオトープの子どもと環境の関わり 〇須藤朋美1・伊東啓太郎1・長谷川逸人2・緒方友希3・宮園遼3・古閑丈瑛4 1九州工業大学大学院工学研究院建設社会工学研究系 2 中央大学理工学部人間総合理工学科 3 九州工業大学大学院工学府建設社会工学科 4 株式会社緑演舎	
P30	森のようちえんの活動軌跡と森林構造との関係 〇丹羽英之1，石川麻衣子2，須藤朋美3，鎌田磨人4 1京都先端科学大学，2一般社団法人森のようちえんどろんこ園，3九州工業大学，4徳島大学	
P31	若者を対象とした、自然環境保護に対する意識に関する研究 〇穴水優希1，須藤朋美2，Ting Ding Hooi3，長谷川逸人4，伊東啓太郎2 1国立大学法人九州工業大学大学院工学府，2国立大学法人九州工業大学大学院工学研究院，3Universiti Teknologi PETRONAS，Malaysia，4中央大学理工学部人間総合理工学科助教	
P32 *	気仙沼市三島海岸における防潮堤法面覆砂基盤の違いによる徘徊性昆虫群集の比較 〇大越陽1，松島肇2，植野晴子1 1北海道大学大学院農学院，2北海道大学大学院農学研究院	野生生物
P33 *	環境DNAを用いた森林生物多様性モニタリング手法の開発 ～樹液内の環境DNAから好樹液性昆虫を検出～ 〇川上仁之1，湯浅拓輝1，黒田裕樹1，一ノ瀬友博1 1慶應義塾大学	
P34 *	国内における道路横断施設に関する文献について 〇笈川慶司1，加藤禎久2 1公立鳥取環境大学 大学院，2公立鳥取環境大学環境学部	